

## ② 国際社会の学習でのワンポイント活用例 ～機能を活用して効果的にディベートを～

東京都品川区立豊葉の杜学園主任教諭 金城 和秀(きんじょう かずひで)


◆**単元名**：第6章 国際社会に生きる私たち 2 国際社会が抱える課題（教科書 pp.194-205）

（「⑤これからの資源とエネルギー」・「⑥『生命の星』を守るために」を中心に）

◆**本時の目標**：

ディベートを通して、世界平和の実現と人類の福祉の増大に関する国際社会の問題点を知り、国際社会における日本の役割について、多面的・多角的に考察する。

《本時の展開例》

	学習活動	留意点	デジタル教科書・教材
導入 (5分)	●本時の学習内容・目標を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディベートの論題を理解させ、流れを確認させる。</li> <li>ディベーター(肯定派と否定派)と傍聴者(判定者)に分け、準備をさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の目標や、論題に関する新聞記事資料などをスクリーンに表示し、生徒にイメージを持たせる。</li> </ul>
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディベートを行う。</li> <li><b>論題</b></li> <li>「世界各国に自然エネルギーの導入を義務づけるべきである」</li> <li>①立論 (3分×2)</li> <li>②作戦タイム (4分)</li> <li>③反論 (3分×2)</li> <li>④傍聴者からの質問, 発言 (4分)</li> <li>⑤作戦タイム (4分)</li> <li>⑥最終弁論 (4分×2)</li> <li>⑦判定 (3分)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちが作成した資料(レジュメ)をなるべく活用して発言するように指導する。</li> <li>肯定派, 否定派それぞれの発言者がデジタル教科書を活用する場合は, 時間に注意しながら使うように指示をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教科書の授業支援パレットにある「タイマー」をスクリーンに表示し, 作戦タイムなどの場面での時間の管理に活用する。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教科書〈p.202・4〉「主な鉱物資源の可採年数」を映し出し, 立論や反論の根拠として活用する。</li> <li>デジタル教科書〈p.204・1〉「さまざまな地球環境問題」を映し出し, また必要に応じて関連資料も提示して, 反論や最終弁論の場面で活用する。</li> </ul>
まとめ (10分)	●ディベートについて講評・まとめを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>論点整理を行い, どのような対立点があったのか確認させ, 論題への最終的な自分の意見を整理させる。</li> </ul>	

### ◆指導にあたって：

- 本実践は、学習指導要領の大項目「(4) 私たちと国際社会の諸課題」の中項目「ア 世界平和と人類の福祉の増大」について、教科書の第6章「2 国際社会が抱える課題」全体をディベートを通して学び、課題の解決に向けて考えを深めさせていくものである。学習指導要領の中項目に示された内容を追究することができるディベートの論題を三つ設定し、各班がそれぞれ肯定派と否定派に分かれて調べ学習を行う。
- 事前調査の資料の一つとしてデジタル教科書も加え、生徒に内容や操作性を確認させつつ、ディベートの際にも主張の根拠となる資料として組み込んで活用できるよう指導する。
- 三つの論題のうちの一つについて紹介した今回の実践例のように、1時間で一つの論題についてのディベートを行い、その後アフターディベートを実施して振り返りを行うことで、深い理解と単元目標への確実な到達を図る。

### ◆デジタル教科書活用のねらい：

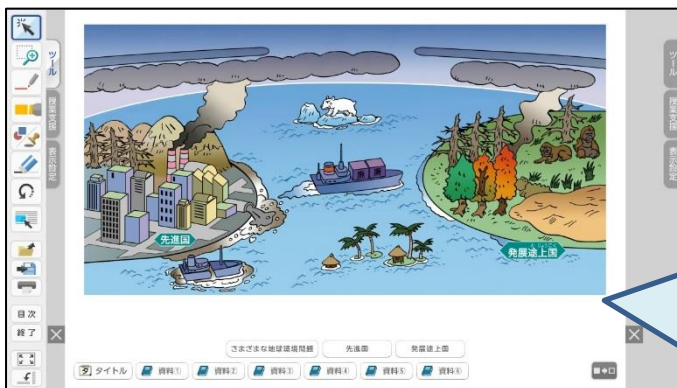
- 通常は、生徒が作った補助資料(レジュメ)を中心に立論や反論、最終弁論を行っていくが、生徒に自分たちの主張の際の資料としてデジタル教科書も取り入れ活用させることで、より視覚的にわかりやすくディベートを展開することができ、ディベーター同士や傍聴者の理解も深めることができる。



▲「立論」で自分たちの主張を行う



▲「作戦タイム」での話し合い



資料提示：デジタル教科書 p.204・**1**  
資料をクリックして拡大表示。

- ・下部にあるボタンをクリックして、アニメーションで資料を表示。
- ・主張の内容に合わせて関連資料①～⑥を適宜表示させ、根拠を補足する説明や解説を加えさせる。

### ◆生徒の反応：

- 今まではレジュメだけだったので、配布型の資料しか提示することができなかったが、デジタル教科書を活用することによって、動画や動きのある資料を使ってディベートができ、主張の内容もよく伝わった。
- 教科書の基本的な内容をデジタル教科書で提示するので、誰にとっても理解しやすい内容となっていた。

### ◆授業を終えての感想・今後の課題：

- 生徒が調べ学習などでデジタル教科書を活用するような活動場面を、今回のディベートだけでなくほかの単元計画の中でも、もっと意図的に配置して取り組んでみたい。そのためには、教師の側にもデジタル教科書の機能の把握や、操作技術の向上がさらに必要であると感じている。